

カボスの反射資材敷設による果皮緑色向上

近年、カボスの青果量は減少傾向にあり、長期貯蔵向けの高品質カボスの不足が問題となっています。果皮緑色を濃くするには果実に日光を十分に当てる必要がありますが、生産者の高齢化や大規模化等により細やかな管理作業が徹底されておらず、これが果皮緑色不足につながっています。そこで大分県農林水産研究指導センターでは、省力的に果皮緑色を向上させる技術として反射資材敷設が有効であることを明らかにしたので紹介します。

☆技術の概要

1. 7月上旬頃から収穫期までカボス樹冠下に反射資材を敷設することにより、裾部果実の果皮緑色向上効果が認められました（図1、2）。
2. 反射資材敷設区の果実は、対照（無処理）区に比べ貯蔵中の緑色保持も優れていました。
3. 白王シートとタイベックシートの効果は同等で、シルバーマルチはやや劣りました。
4. 反射資材敷設による果実品質への影響はなく（表1）、日焼け果も発生しませんでした。

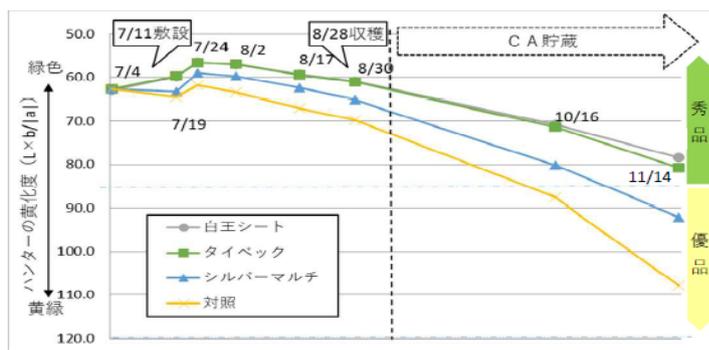


図1 反射資材敷設による果皮色変化 (2017年)
※裾部(50~80cm程度)の果実下面で色差測定。



図2 反射資材敷設状況
※被覆期間は、7月上旬頃から収穫まで。
反射光・散乱光が効率よく裾部果実に当たり、
雨水も入るよう、株元を50cmほど開けて敷設。

表1 収穫時と貯蔵終期の果実品質 (2017年)

	8月30日(収穫時)			11月15日(貯蔵終期)		
	果汁歩合 (%)	Brix (%)	クエン酸 (%)	果汁歩合 (%)	Brix (%)	クエン酸 (%)
白王シート区	33.2	10.5	5.95	22.3	9.1	4.53
タイベックシート区	32.4	10.2	6.17	24.8	8.4	4.45
シルバーマルチ区	30.7	11.0	6.14	25.9	9.2	4.63
対照区	31.3	11.2	6.31	28.2	9.4	4.73

【参考】

各資材の特徴		
白王シート	水抜穴付	裏面は黒色で抑草効果あり
タイベックシート	ハード	柑橘で一般的に使用されている資材
シルバーマルチ	野菜用	価格は安いですが、薄く破れやすい

☆活用面での留意点

1. 敷設した反射資材に裾枝が覆い被さらない様、受光体制に注意してください。
2. 詳細については大分県農林水産研究指導センター農業研究部果樹グループカボス・中晩柑チーム (TEL:0972-82-2837) にお問い合わせください。

(農研機構果樹茶業研究部門 研究推進部 水本 文洋)